

『地域おこし協力隊』を紹介します！

昨年11月から、『地域おこし協力隊』として活動している、
なかはたちひろ仲畑知洋さん（諏訪）を紹介します。



日野町地域おこし協力隊
なかはたちひろ
仲畑知洋さん

地域の皆さんの温かい笑顔
と励ましに感謝しながら、
何事にも挑戦したい

日野町の皆さん、新年明けまして
おめでとうございます。

私は、このたび地域おこし協力
隊として、11月から町に移住しま
した仲畑知洋です。

日々効率化される都会の生活よ
りも、自然に囲まれた生活に未来
の可能性を感じ、大阪府堺市から
やってきました。

きっかけは、ふと眺めていたパ
ソコンで見た『日野町地域おこし
協力隊募集要項』との出会いで、
「こんな仕事してみたい」「どんな
ことでも挑戦するぞ」と覚悟を決
め、役場企画政策課に応募を試み
ました。

大阪では、主に力仕事に従事す
る機会が多く、体力には自信があ
ります。私を温かく迎えてくだ
さった役場の皆さんに本当に感謝
するとともに、日々、さまざま
なことを指導してくださり、時には
励ましてくださる里山元気塾塾長
の小谷博徳さん、温かい笑顔をく
ださる菅福元気邑の皆さん、そし

◆地域おこし協力隊とは

地方自治体が、都市住民を受け入れ委嘱し、地域おこし活動の支援
や農林業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事し、
定住・定着を図りながら、地域活性化に貢献します。

【活動例】

▼地域おこし支援Ⅱ地域行事やイベントの応援、空き店舗活用など
▼農林水産業従事Ⅱ農作業支援、耕作放棄地再生、畜産業支援など

て菅福の地域の皆さん、ありがと
うございます。

車を走らせながら見る山あい
の、まるでそこに温泉があるかの
ごとくふんわりと湧き上る霧のや
さしさ。日野町に来て2カ月、少
しずつ今の生活になじみ始めてい
る自分を感じています。

都会、田舎といっても日本は日
本であり、日本といえどもこの地
球の中では小さな島国でしかな
く、年々変化していく環境と経済
事情は、どこに住んでいても、い
やが応でも少なからず影響はある
ものです。

私は生きるうえで、ここ数十年
で急速に発達した文明よりも、数
千年かけて自然とともに歩んでき
た人の道を信じます。それを絶や
さぬよう、地域おこし協力隊の活

動に取り組んでいきたいと思いま
すので、よろしくお願いします。

▲地域のもちつき大会に参加し交流を
深める仲畑さん（左から2人目）



町営バスの土曜日運休について ご意見をお寄せください

現在、日野病院が行っている第2・第4土曜日診療が、平成26年4月からすべて休診となることに伴い、町では、町営バスすべての路線で、第2・第4土曜日の運休（減便）を検討しています。

この運休について、皆さんの意向を把握するため、意見をお寄せください。いただいた意見を参考に、平成26年4月以降の第2・第4土曜日を運休するかどうか決定したいと思います。詳しくは、役場企画政策課（電話72・0332）までお問い合わせください。



町営バスは生活交通手段の要

意見募集は、2月末まで受け付けています

意見応募方法

- 専用の応募用紙はありません
- 意見は、役場企画政策課窓口、電話、ファクシミリ、Eメール、郵送で受け付けています

応募および問合せ

【窓口および郵送】

- 〒689-4503 日野町根雨 101 役場企画政策課
- 【電話】(0859) 72-0332
- 【ファクシミリ】(0859) 72-1484
- 【電子メール】kikaku@town.hino.tottori.jp

現在、日野病院が行っている第2・第4土曜日の診療が平成26年4月から、休診となります。町営バス運行ダイヤは、日野病院の土曜日診療日に合わせ組まれており、それが休診となることから、すべての路線で土曜日の運休を検討しています。

土曜日に町営バスを利用する目的は、通院のほか、買い物や外出なども考えられます。運休を検討するにあたり、皆さんから意見をいただきたいと思っています。ふるってお寄せください。

《町営バスに乗りましょう》

町営バスは、まちの皆さんの交通機関です。運賃はすべて町の収入になります。皆さんの大切な交通機関を守るため、多くのご利用をお願いします。